

平成 26 年度 事 業 計 画

I 方 針

今世界では、文化と文明の激しいグローバル化が進んでおります。関西・大阪は、この流れに取り残されることなく、アジアの興隆期に一刻も早く対応していかなければなりません。

大阪国際フォーラムは、幅広い情報の集積と相互交流のもとに、経済、文化交流、講演会、音楽会などの開催を通じて、関西・大阪の多様・多彩な潜在力を引き出して、国内外に発信してまいります。

フォーラム発足 6 年目に当たる平成 26 年度は、恒例となった、海外のアーティストを招いての「中之島国際音楽祭」を開催するとともに、昨年度に引き続き経済や文化、医療の分野における、日中間の交流事業の具体化を進めるとともに、日韓の交流事業についても検討を進めてまいります。

また、関西・大阪文化力会議を通じてアジア太平洋地域への文化戦略についての議論の場をつくるとともに、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのプレイベントとして、ダボス会議主催者から打診のある、スポーツ・文化のダボス会議（仮称）の開催について、関係機関と連携・協力しながら、関西振興のために、関西での開催の実現に向けて取り組んでまいります。

II 事業の実施に関する事項

(1) 日中交流事業

現在の冷え切った日中間の状況に鑑み、正常化のための人的な交流事業を積極的に行ってまいります。

① 第 14 回日中友好交流会議への参画

国交正常化 10 周年の 1982 年から、日中友好協会と中日友好協会が共催で開いてきました友好交流会議の第 14 回会議が大阪で行われることになり、当フォーラムとしても関連事業の企画等を含めてこれに参画してまいります。

② 「中国ゆかりの地」日中ビジネス展開プロジェクト

香港のテレビ局と連携し、中国ゆかりの名所旧跡を古代中国から日本

に渡来した先人からとき起こし、現代に至る人物とそのゆかりの地を紹介する「中国ゆかりの地」を題材に、総務省25年度補正予算「放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業」への公募を通じ、民間ベースの日中共同制作による日中交流の活性化を目指します。

③ 医療・高齢者福祉シンポジウム（仮称）の開催の検討

交流を進めている江蘇省との間で、中国の高齢者がおかれている状況に対し、医療関係者と協力しながら日本側で取組みが可能なことと等について検討してまいります。

④ 日中経済連携・促進事業

上海市・江蘇省と経済関係を中心に培ってきたこれまでの人脈と、関西と両地域との幅広い交流をもとに、中小企業を含めた経済交流の促進に関するセミナーやシンポジウムの開催について検討を進めてまいります。

(2) 日韓交流事業

明年が日韓国交正常化50周年にあたることから、駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院との協議をもとに、民間レベルにおける友好関係をより深めていくための新たな交流事業について、検討を進めてまいります。

また、昨年度開催した沈 壽官の後継事業についても、同文化院と協力して検討してまいります。

(3) 関西・大阪文化力会議の開催

複雑な政治情勢が絡み合うアジア太平洋地域の安定と持続的な発展のために、日本が選択すべき文化戦略や関西・大阪の果たす役割、交流活動について、25年度に引き続き各界から専門家を招聘し、シンポジウム（基調講演、パネルディスカッション等）の開催を企画してまいります。

(4) 中之島国際音楽祭2014の開催

今年度も音楽を通して「大阪から世界へ、世界から大阪へ」つなぐ祭典として、また市民の皆様に気軽に楽しんでいただけるクラシック音楽の祭典として開催してまいります。

今年度は一昨年に続き、中国・上海音楽院の神童ピアニストを招聘し、

中国との友好交流の一環としてまいります。

(5) 中之島今昔案内（周辺散策マップ）英語版の作成

中之島今昔案内はこれまで第4号まで発行し発行部数も計85万部となりました。創刊当初から多言語対応での作成を内外から要請されており、今回英文版を作成してまいります。

中之島を俯瞰し、グランキューブ大阪、シンフォニーホール、フェスティバルホール、フェニックスホール、中之島公会堂、いずみホール、大阪城ホールと世界標準足りうるホールにスポットをあてた中之島を浮かび上がらせていきます。

発行部数は5万部を予定。

(6) その他の取組み

- ① 昨年度、関西・大阪文化力会議で講演していただいたハーバード大学名誉教授のエズラ・ヴォーゲル氏をはじめ、ハーバード大学の人脈を生かし、日米の経済協力や安全保障問題について、大阪での民間レベルでのシンポジウムの開催を進めてまいります。
- ② アジア太平洋地域との国民相互の理解を推進していくため、文化人、や経済人、宗教家等を交えたシンポジウムの開催について、そのテーマの選定等を含め検討してまいります。
- ③ 五代友厚亡き後大阪経済界の重鎮として、今日に続く数々の企業を起こした松本重太郎について、その生誕170年を記念した行事が本年度に行われます。当フォーラムとしても、大阪経済の礎を築いた、一人であることから、記念行事の支援をしてまいります。
- ④ 福祉分野、とくに高齢者の介護福祉において、「社会福祉法人」と連携した交流事業を行います。
- ⑤ インバウンドビジネスを拡大する上で、国際交流都市大阪が諸外国に向けて最も取り組むべきプロモーションと、その課題等について話し合うセミナーの開催を検討してまいります。